

## ◇学校運営協議会 第1回 令和元年6月17日 18:00～20:00

○日 時 令和元年6月17日(月)午後6時～午後8時00分

○場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室(本館2F)

○テーマ ・学校運営協議会の実施要項と運営について  
・平成31年度(令和元年度)学校経営計画について

○出席者(敬称略、委員は50音順)

島田 雅弘	吹田市立片山中学校 校長
土井 実	鳳志会(本校同窓会) 副会長
前田 武男	千一地区連合自治会
村田 徹	大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長
室田 園子	本校PTA 会長
手島 肇	本校 校長

○事務局

藤井 秀雄(教頭)、井上 薫(事務長)、磯原 健志(首席)、門野 正太(首席)

○議事

- ・会長・副会長選出
- ・学校経営計画について
- ・その他・意見交換

○主なやりとり

(中期的目標について)

質問: 2(2)ウ 目標値を人数からパーセンテージへの変更にあたって、H30年度の28名等に対するパーセンテージはいくらか、比較のために必要と思う。

回答: 四年制大学希望者に占める当該大学への合格者の割合としては17%～18%程度です。

質問: 中間的目標は、3年スパンの計画だが新しい取組みを追加するなどしていくべきと思うが可能か。

回答: 前向きな数値に変えていくべきと認識している。

質問: 教育委員会への提出タイミングと当協議会での承認との関係はどうなっているのか。

回答: 当協議会実施要項第2条に基づいて昨年度中に当協議会で承認いただいた今年度の計画は、府教委へ提出済。

今回の協議会では校長交替に伴う変更部分を中心に御議論いただくということ。

質問: 進路実績について、国公立の受験実績は?

回答: 受験者はゼロ、近年のセンター試験受験者としては6～8名で推移している。

(取組内容及び自己評価について)

質問：肯定率を目標値にせざるを得ないのも理解できるが、否定的な層の10～15%に対してもスポットを当てるべきと考える。

回答：進路対策会議等できめ細かく対応しており今後も引き続きフォローしていきたい。

質問：校門を入れてすぐに生徒から一斉に元気よく挨拶いただき感動。ぜひ全校生徒にこの良い習慣を指導いただきたい。

回答：野球部等はじめクラブ活動をしている生徒が率先して挨拶を実施。当該の指導は継続していく。

意見：いじめも性教育も、やってはいけないだけではなく「具体的にどう責任をとれるか」等まで含めて、生徒自身が考えられるように指導すべき。家庭での責務もあるが、学校でもはっきり分かりやすく指導してほしい。

質問：土曜講習受講及び課外活動の希望者又、受け入れ人数はどれくらいか。

負荷にもなるが、決意のほどは？

回答：各種類にもよるが、実績は最大40人から5～6人の規模まで色々。希望者に対して教員1・2名が付添う。

質問：今後更に主権者教育が重要性を増す。選挙権持つ3年生が在籍しており取組みはどのようなものか。また明文化してはどうか。

回答：主権者教育の一環で、生徒会の選挙(前期・後期)で市選管から投票箱をお借りしての模擬体験や、1年生の現代社会の授業では選挙権について取り上げ全員が学習している。

